

平成18年度当初予算 施策別概要

324 食の安全とくらしの衛生の確保

(主担当部局 健康福祉部)

32401	食の安全・安心の確保	(健康福祉部)
32402	生活衛生営業の衛生水準の確保	(健康福祉部)
32403	医薬品等の安全確保	(健康福祉部)
32404	薬物乱用防止対策の充実	(健康福祉部)
32405	人と動物との共生環境づくりの推進	(健康福祉部)
32406	食の安全とくらしの衛生を確保する研究の推進	(総合企画局)

< 施策の目的 >

(対象) 県民一人ひとりが

(意図) 安全・安心な食生活や衛生的な生活を営んでいる

< 施策の数値目標 >

目標項目		H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
食品の検査件数に対する不適合食品の割合(%)	目標値	11	6.5	6.0	5.5
	実績値	7.6	8.0	6.5	

「食品衛生法」に規定されている食品の製造販売のための規格基準および県の食品の指導基準不適合率

< 平成18年度に残っている課題 >

BSEの発生や食品の偽装表示などにより、消費者の食の安全に対する不安や不信感が増大しており、また、国では、アメリカ・カナダ産牛肉の輸入再開について検討がなされていることから、食の安全・安心について県民の関心が高まっています。そのため、食品の製造、流通及び販売の各段階における監視指導や収去検査、消費者・事業者とのリスクコミュニケーションが重要となっています。

残留農薬検査の強化、食品添加物の適正使用、食品の適正表示及び輸入食品や健康食品に対する安全確保など安全・安心対策の強化が求められています。

近年の健康に対する意識の高まりにより、医薬品の安全性や有効性に対する県民の関心が高くなっています。また、医薬分業の進展にともない、薬局における調剤業務が増加しているため、調剤過誤防止対策及び県民に対する医薬情報の提供体制の充実が必要となっています。

現在、我が国は「第三次覚せい剤乱用期」という深刻な情勢にあり、青少年への薬物汚染や大麻汚染が拡大しています。薬物乱用を防止するための啓発活動、麻薬等の不正流通の防止等を引き続き実施することが求められています。

動物愛護の精神や意義、動物の適正飼養・終生飼養について県民の理解や関心を深め、人と動物とが共に健康で安全な共生環境づくりを進めていく必要があります。

< 平成18年度の施策の取組方向 >

食の安全を確保するため、引き続きBSEの検査と衛生的な食肉の生産を推進するとともに、と畜検査、食鳥検査、食品の検査、食品営業施設の監視指導、市場監視を実施します。また、消費者の食品衛生への理解を深めるため、食の安全安心フォーラムの開催など消費者、事業者等とのリスクコミュニケーションの実施及び食の安全安心アドバイザーの養成を行います。

生産から消費に至る食品の流過程における食品取扱いの衛生管理のための拭き取り検査、食品中の残留有害物質及び汚染物質検査を実施し食品の安全を確保します。また、検査の信頼性確保のために精度管理調査及び研修等を実施します。

医薬品等の安全を確保するため、医薬品及び毒物劇物等製造施設や薬局等の監視指導を行うとともに、三重県薬事情報センター等を利用した医薬品の正しい知識の普及啓発、医薬品及び家庭

用品の収去検査を行います。

薬物乱用防止対策として、医療用麻薬等の不正流通を防止するための監視指導、不正大麻・けしの抜去、民間団体との協働による青少年等への啓発活動、薬物の再乱用を防止するための相談業務を行います。

人と動物との共生環境づくりに向け、動物の適正飼育や動物愛護思想の普及啓発、犬の正しい飼い方教室などを行います。

<主な事業>

(重) 食の安全食品衛生監視指導事業【基本事業名：32401 食の安全・安心の確保】

当初予算額： 47,631千円 47,196千円

事業概要：食の安全・安心を確保するため、自主衛生管理の推進（HACCP手法の普及及び導入促進）、危害分析のランク分けによる食品関係施設の監視指導事業及び消費者等とのリスクコミュニケーションを行います。

(重) 食の安全食肉衛生事業【基本事業名：32401 食の安全・安心の確保】

当初予算額： 108,319千円 109,305千円

事業概要：消費者へ安全な食肉（食鳥肉を含む）を提供するため、と畜場法及び食鳥検査に関する法律に基づき、BSE検査を含むと畜検査等を実施するとともに、食鳥肉取扱施設のHACCP手法の導入等自主衛生管理体制を確立します。

食の安全とくらしの衛生確保研究推進費

【基本事業名：32406 食の安全とくらしの衛生を確保する研究の推進】

当初予算額： 8,933千円 7,905千円

事業概要：食の安全とくらしの衛生の確保に関する優先研究課題を解決し、安全・安心な食生活や衛生的な生活を推進するため、食品中残留農薬分析の迅速化研究、医薬品として承認されていない健康食品等の医薬品成分試験法開発等に関する研究を行います。

薬事審査指導事業【基本事業名：32403 医薬品等の安全確保】

当初予算額： 7,685千円 7,882千円

事業概要：医薬品等の製造販売から市販後安全対策に至るまでの品質、有効性及び安全性を確保するため、製造販売業者や販売業者の許可及び査察等を行います。また、薬局に対して調剤業務安全対策を向上させるために指導を行います。

(新) 県民参加による大麻・けしクリーンアップ事業

【基本事業名：32404 薬物乱用防止対策の充実】

当初予算額： - 千円 2,879千円

事業概要：法律で栽培が禁止されている、大麻・けしについて正しい知識を県民に普及するとともに、その自生や不正栽培を撲滅するため、県民や関係機関が協働した取組を行います。

動物保護管理推進事業【基本事業名：32405 人と動物の共生環境づくりの推進】

当初予算額： 3,102千円 2,392千円

事業概要：動物愛護の精神・意義等を深めてもらうため、小中学生を対象にした動物愛護の絵・ポスター募集などの動物愛護啓発事業や特定動物飼養者、取扱業者、一般の飼い主に対する講習会を開催します。また、特定動物や放し飼い犬からの危害防止、動物の適正飼養のための監視指導を行います。